

## 引用文献・資料等

### 第1章

- (1) T. P.ヒューズ、「電力の歴史」平凡社、1996
- (2) 安達、「エネルギー産業の歴史と現状」エネルギータイムズ社、1992
- (3) 通産省、「電力負荷平準化対策の今後の在り方（中間報告）」電事審負荷平準化小委、1997

### 第2章

- (1) 服部恒明、大河原透、加藤久和、人見和美、永田豊、星野優子、若林雅代「2025年までの経済社会・エネルギーの長期展望」、電中研研究報告Y990018、2000年5月
- (2) 岩坪哲四郎、橋本克巳「都市のエネルギー需給分析と省エネ都市の省エネ負荷平準化効果の評価」、電力中央研究所研究報告W96018、1997年5月
- (3) 篠原靖志、吉光司「電力有効利用支援システムの開発（その1）」、電中研研究報告R98008、1999年6月
- (4) 通産省：総合エネルギー統計
- (5) 住環境計画研究所：家庭用エネルギーハンドブック、省エネルギーセンター、1999
- (6) エネルギー経済統計要覧、2000
- (7) 平成11年度電力受給の概要
- (8) <http://www.openplanet.co.jp/index.htm>
- (9) 服部恒明、大河原透、加藤久和、人見和美、永田豊、星野優子、若林雅代「2025年までの経済社会・エネルギーの長期展望」、電中研研究報告Y990018、2000年5月
- (10) 空気調和・衛生工学会、58巻、11号
- (11) 今村栄一、浅野浩志「中小規模業務用需要家におけるマイクロガスタービンの最適導入計画」、電中研研究報告Y00003、2000年6月
- (12) 三田寺要治、田中昭雄、中上英俊、上村民男「オフィスビルにおけるOA機器のエネルギー消費実態」、第16回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス講演論文集、2000年1月

### 第3章

- (1) 土屋智子、山野紀彦、小杉素子「ライフスタイルの家庭用エネルギー消費に及ぼす影響分析」、電中研研究報告Y98018、1999年
- (2) 浅野浩志「家庭用間接負荷制御実験における情報提供とピーク抑制協力金の効果分析」、電中研研究報告Y97008、1998年4月
- (3) 浅野浩志「間接負荷制御試験における価格効果の持続性の分析」、電中研研究報告Y99004、1999年6月
- (4) 浅野浩志、今中健雄「間接負荷制御試験におけるピーク抑制効果と発電設備繰り延べ効果」、電中研研究報告Y00001、2000年5月
- (5) 吉光司、鈴木正「需要家情報ネットワークの開発（その1）- 需要家対応業務の遠隔処理に関する検討 - 」、電中研研究報告R93010、1994年3月
- (6) 吉光司、竹下和磨、鈴木正「需要家情報ネットワークの

開発（その2）- 需要家対応業務の遠隔処理のための電力コントローラの基本設計 - 」、電中研研究報告R94011、1995年3月

- (7) 吉光司「需要家情報ネットワークの開発（その3）- 需要家対応業務の遠隔処理と新たな需要家サービスのための電力コントローラの開発 - 」、電中研研究報告R95015、1996年6月
- (8) 竹下和磨、鈴木正「需要家情報ネットワークの開発（その4）- マルチメディア通信システムの基本構成 - 」、電中研研究報告R95016、1996年3月
- (9) 下門信太郎、鈴木正、吉川真紀子、柳瀬晋、深津欣也「テレビ受信用同軸ケーブルを用いた屋内マルチメディアLANシステムの開発」、電気学会 通信研究会資料No. CMN-98-32、1998年6月
- (10) 吉光司「需要家情報サービスシステムの開発（その1）」、電中研調査報告R96026、1997年6月
- (11) 篠原靖志、吉光司「電力有効利用支援システムの開発（その1）」、電中研研究報告R98008、1999年6月
- (12) 吉光司、篠原靖志、浅利真宏「家庭用電力有効利用支援システムの開発 - 電力有効利用支援のための機能の開発とその評価 - 」、電中研研究報告R99011、2000年5月
- (13) 斎川路之、橋本克巳、長谷川浩巳、岩坪哲四郎「CO<sub>2</sub>ヒートポンプサイクルの効率把握と挙動・制御に関する検討」、電中研研究報告W98004、1999年3月
- (14) 橋本克巳、斎川路之、岩坪哲四郎「超臨界CO<sub>2</sub>の熱伝達率に関する実験的研究」、第37回日本伝熱シンポジウム講演論文集、Vol. I、2000年
- (15) M. Saikawa, K. Hashimoto, CRIEPI; T. Kobayakawa, K. Kusakari, TEPCO; M. Ito, H. Sakakibara, DENSO Co., 2000, Development of Prototype of CO<sub>2</sub> Heat Pump Water Heater for Residential Use, Proceedings of 4th IIR-Gustav Lorentzen Conference on Natural Working Fluids
- (16) 安田陽子、岩坪哲四郎「潜熱蓄熱物質探索に向けたコンピュータシミュレーションによる分子設計手法の調査・評価」、電中研研究報告W97013、1998年3月
- (17) 土屋陽子、岩坪哲四郎、長谷川浩巳「潜熱蓄熱物質に向けたコンピュータシミュレーションによる物性予測」、電中研研究報告W99009、1999年12月
- (18) 特許「小型消費電力測定装置」第3056046号、平成12年4月14日登録
- (19) 由本勝久、中野幸夫「非侵入型モニタリングシステムの開発（その1）- ニューラルネットワークによるインバータ機器の同定 - 」、電中研研究報告T98045、1999年5月
- (20) 小野田崇、Gunnar R\_tsch、中野幸夫、由本勝久「非侵入型モニタリングシステムのための電気機器オン・オフ状態同定手法の開発」、電中研研究報告R99004、2000年3月
- (21) Y. Amano, K. Yoshimoto, Y. Nakano, and B. Kermanshahi, "Artificial Neural Nets for Non-Intrusive Load Monitoring", International Conference on Electrical Engineering 2000 (ICEE2K), A-3-06, July 24-28, 2000.

#### 第4章

- (1) 高橋雅仁、浅野浩志、永田豊「統合資源計画モデルの開発と蓄熱式空調プログラム普及方策への適用」、電中研研究報告Y97021、1998年9月
- (2) 高橋雅仁、浅野浩志「業務用需要家の省エネルギー対策とグリーン電力に関する意識調査」、電中研研究調査資料Y00909、2000年7月
- (3) (財)電力中央研究所編「トリレンマ問題群 どうなる地球環境 温暖化問題の未来」、電力新報社、pp.241、1998年9月
- (4) 社団法人ニューオフィス推進協議会 調査研究部会：期待されるオフィス像 オフィスワーカーにとって働きやすいオフィスとは？、pp.2、1994年3月
- (5) 梅干野晃「住まいの環境学 快適な住まいづくりを科学する」、放送大学教育振興会、pp.174、1996年3月
- (6) 宮永俊之、中野幸夫「放射冷房による居住熱環境の改善に関する研究 第1報：遮へいを考慮した形態係数の高精度計算法と熱環境解析への応用」、日本建築学会計画系論文集、No.518、pp.37-44、1999年4月
- (7) 宮永俊之、中野幸夫「拡散面と鏡面からなる三次元閉空間内の放射伝熱 改良型光線追跡法を用いた計算方法」、日本機械学会論文集、65巻、635号B編、pp.240-247、1999年7月
- (8) 宮永俊之、占部亘、中野幸夫、梅干野晃「放射冷房による居住熱環境の改善に関する研究 第2報：熱放射環境評価のための居室者の簡易型モデル」、日本建築学会計画系論文集、日本建築学会計画系論文集、No.526、pp.51-58、1999年12月
- (9) Fanger, P.O.: Thermal Comfort, Copenhagen Danish Technical Press, 1970
- (10) ASHRAE STANDARD : Thermal Environment Conditions for Human Occupancy, ANSI/ASHRAE 55-1981
- (11) 宮永俊之、大沼敏治、中野幸夫、松木直子、岡建雄、「氷蓄熱式放射冷房システムの開発(その1) - 温熱快適性に及ぼす放射および湿度の影響評価 -」、電中研研究報告T95075、平成8年6月
- (12) 中野幸夫、宮永俊之、大沼敏治、「氷蓄熱式放射冷房システムの開発(その2) - エネルギー消費特性とランニングコスト -」、電中研研究報告T96028、平成9年5月
- (13) 中野幸夫、宮永俊之、「氷蓄熱式放射冷房システムの開発(その3) - イニシャルコストをふまえた総合評価 -」、電中研研究報告T97067、平成10年5月
- (14) 岩坪哲四郎、橋本克巳「都市のエネルギー需給分析と省エネ都市の省エネ負荷準化効果の評価」、電力中央研究所研究報告：W96018、1997年5月
- (15) 橋本克巳、岩坪哲四郎、斎川路之、長谷川浩巳、三巻利夫「地域エネルギー供給システム設計評価手法の検討」、電力中央研究所研究報告：W95031、1996年3月
- (16) 土屋陽子、長谷川浩巳、岩坪哲四郎「カプセル型氷蓄熱システムの高性能に向けた技術開発 - 過冷却の影響評価と解除剤の探索 -」、電中研報告W99010、2000年3月
- (17) 水鳥雅文、田村英寿「東京23区における夏季人工排熱分

布の時空間特性」、電中研調査報告U99022、1999年

- (18) 田村英寿、水鳥雅文「建物周辺における熱環境予測手法の開発(その2) - 東京23区を対象とした数値シミュレーション」、電中研研究報告U99022、1999年
- (19) 占部亘、宮永俊之、中野幸夫「日射反射率の増加による冷房負荷の削減 - ビルのエネルギー消費に及ぼす都市熱環境の影響評価 -」、電中研研究報告T99077、2000年6月
- (20) たとえば、Berdahl, P., Bretz, S. E. " Preliminary survey of the solar reflectance of cool roofing materials, Energy and Building, Vol.25, No.2, pp.149-158, 1997.3

#### 第5章

- (1) H.L. Willis and G.B. Rackliffe, " Introduction to Integrated Resource T&D Planning ", An ABB Guidebook, ABB, 1994
- (2) 「新エネルギーの潜在性と経済性」、総合エネルギー調査会新エネルギー部会資料、平成12年1月
- (3) 新エネルギー・産業技術総合開発機構、「新エネルギーデータ集(平成11年度版)」
- (4) L.R. Christensen and W.H. Greene, " Economies of Scale in U.S. Electric Power Generation, " Journal of Political Economy, Vol. 84, No. 4, pp.655-676, 1976
- (5) エイモリー・ロピンス著、室田泰弘・榎屋治紀訳、「ソフト・エネルギー・パス」、時事通信社、1979
- (6) J. Pfeifenberger, et al., " What is in the Cards for Distributed Resources, " Energy Journal, Special Issue, 1997
- (7) Joseph Iannucci, et al. (Distributed Utility Associates), " Distributed Utility Perspectives, " A White Paper Prepared for the IEA Working Party on Renewable Energy, 1999
- (8) 分散型発電研究会「マイクロガスタービン電源の開発・実用化動向と研究課題」、電中研研究調査資料T99902、1999年
- (9) 市川建美、斎川路之、岩坪哲四郎「マイクロガスタービンと固体高分子型燃料電池の開発動向と運用特性」、電中研研究調査資料T99921、2000年
- (10) 斎川路之、高橋徹、岩坪哲四郎、浜松照秀、市川建美「マイクロガスタービン(MGT)による熱電併給システムの評価 - 床面積10000m<sup>2</sup>事務所ビルに適用した場合の経済性・省エネ性 -」、電中研研究調査資料W99901、1999年
- (11) 今村栄一、浅野浩志「小規模業務用需要家におけるマイクロガスタービンの最適導入計画」、電中研研究報告Y00003
- (12) 今村、浅野「自家用発電システムの設置動向調査」、電力中央研究所調査報告Y97018、1998年
- (13) 「空調調和衛生工学便覧 II 空調設備編」、空調調和・衛生工学会編
- (14) 「総合エネルギー調査会 省エネルギー基準部会エアコンディショナー判断基準小委員会中間とりまとめ」、<http://www.miti.go.jp/feedback-j/isair00j.html>、通産省